



2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月12日

上場会社名 株式会社トランザクション 上場取引所 東
 コード番号 7818 URL https://www.trans-action.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 諭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北山 善也 TEL 03-6861-5577
 四半期報告書提出予定日 2021年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第2四半期の連結業績（2020年9月1日～2021年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	9,007	6.8	1,611	42.0	1,636	43.7	1,230	64.8
2020年8月期第2四半期	8,431	3.5	1,134	8.8	1,139	7.8	746	5.2

(注) 包括利益 2021年8月期第2四半期 1,267百万円 (52.5%) 2020年8月期第2四半期 831百万円 (15.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	42.21	—
2020年8月期第2四半期	25.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第2四半期	13,559	10,453	77.1
2020年8月期	13,267	9,804	73.9

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 10,453百万円 2020年8月期 9,804百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期（予想）	—	—	—	19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,578	△4.8	2,531	△9.7	2,541	△11.0	1,690	2.3	58.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期2Q	29,375,400株	2020年8月期	29,375,400株
② 期末自己株式数	2021年8月期2Q	270,840株	2020年8月期	170,840株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期2Q	29,161,583株	2020年8月期2Q	29,088,846株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2021年4月16日に機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会をオンラインで開催する予定です。当日使用する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローの状況の分析	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が停滞状態から拡大に移り、1月に都市部を中心として緊急事態宣言が再発出されるなど、依然として先行きは極めて不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、長期化するコロナ禍における社会環境や消費者動向の変化に対応し、EC事業の強化・拡大を軸として、成長戦略の重点テーマである3つのプロダクトにおいて新製品の投入やEC事業の強化によるシナジーを追求し、販路拡大、新規顧客獲得を始めとした営業施策等の取り組みを強化いたしました。

「エコプロダクト」では、オリジナル製品の主力カテゴリーであるエコバッグやタンブラー・サーモボトルの売上が好調に推移いたしました。特に、エシカルブランド「MOTTERU」は、レジ袋有料化を機に多くのメディアで取り上げられたこと、マルシェバッグが2020年度グッドデザイン賞を受賞したこと、エコバッグ以外の新たなカテゴリーの製品を投入したことなどにより、エシカルブランドとしての認知度が向上いたしました。その結果、リテール向けの売上高が前年同期を大きく上回りました。また、再生素材の生地を使用したエコバッグ「クルリトデイリーバッグ(再生コットン)」に加え、エコバッグ以外のカテゴリーとして、サーモボトルやクリアボトル、コロナ禍での必需品として機能性を重視した「ポケスクハンカチ」、使い捨てビニール傘に替わる「ITSUMOスリムボトル折りたたみ傘」を発売するなど、“使い捨てを使わない”“繰り返し使える”のブランド理念のもと、環境に貢献する製品の拡充に努めました。

「ライフスタイルプロダクト」では、引き続き、コロナ禍でも好調を維持する業種・業界に注力し営業活動を強化いたしました。エンタテインメント業界では、各種イベントの再開に向けた動きが見られましたが、緊急事態宣言の再発出によりイベントでの直接販売については売上の回復傾向が鈍化いたしました。しかしながら、得意先のECサイトによる販売の提案、ゲームやアニメ等の好調を維持する業界に注力し営業活動を強化いたしました。ペットウェア・関連製品においては、オリジナルブランド「One Octave」を立上げ12月に販売を開始したほか、季節を問わず販売可能な製品の開発を推進いたしました。

「ウェルネスプロダクト」では、ウイルス感染対策製品において、感染症拡大傾向の継続による需要に対応し新製品を投入した結果、売上高が前年同期を大きく上回りました。オリジナル衛生用品ブランド「Leaffresh」より、携帯に便利な「しっかり除菌アルコールウェットタオル」、フィルターを内蔵した繰り返し使用可能な布製マスク「ぴったりフィットマスク」、口元に空間的余裕を与える立体フレームとフィルターを一体化した「フレーム内蔵口元ゆとり空間マスク」等、「MARKLESS STYLE」より、空気中の二酸化炭素濃度を測定し換気を促す指標となる「CO₂濃度測定器」等の感染対策製品を相次ぎ投入し市場の変化に対応いたしました。

EC事業では、ユーザビリティの向上を目的としたECサイト及び関連システムの開発に注力いたしました。

「MARKLESS STYLE」のリニューアルにより、在庫情報のリアルタイム更新や商品検索機能の向上、注文・決済方法の拡充などによりユーザビリティを大幅に向上させた結果、会員数が大幅に増加し、利用率及びリピート率も拡大いたしました。また、10月には「MOTTERU」のECサイトをオープン、4月にリニューアル予定の「販促STYLE」を始めとした自社サイトのリニューアルを進めるなど、コロナ禍における急激な環境変化のなかで加速するEC化に対応し、自社サイトによる売上拡大に向けた取り組みにより、売上高及び売上構成比が前年同期を大きく上回る結果となりました。

さらに、EC事業の拡大を加速させるため、顧客企業が運営するECサイトとの自動連携に取り組み一部試験的に開始いたしました。自動連携により、当社グループの在庫情報をリアルタイムで提供できることに加え、顧客企業のECサイトの受発注も自動で連携されます。当社グループと顧客企業との間で発生する受発注処理の自動化により生産性を向上させ、双方の売上拡大及び顧客の増加を目指します。

コロナ禍でのオリジナル雑貨製品において、顧客企業が先の状況を見通すことが困難であることから、短納期のニーズが高まりました。このような状況において、国内在庫による低価格・小ロット・短納期を実現する当社グループのビジネスモデルの強みが発揮されたことが、全体の売上高が前年同期を上回る結果に寄与いたしました。

生産面では、コロナ禍において中国から製品供給を支障なく継続する体制を強化するため、上海多来多貿易有限公司(連結子会社)において、青島に新たな拠点を開設いたしました。また、中国及びその他のアジア諸国における生産拠点の最適化を推進するとともに、各国のロックダウンに備えて複数の生産拠点を確保することで、安定供給の継続と価格競争力の強化に努めました。さらに、最近の海上コンテナ不足による物流への影響に対応するため、中国国内で製造された製品を、日本との往復便が多い上海に陸送し上海から海上輸送するなど物流の最適化を図りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、90億7百万円(前年同期比5億76百万円、6.8%の増加)、営業利益は、売上高の伸長及び原価低減策の実施による売上総利益の増加、販売費及び一般管理費の計画的支出により16億11百万円(前年同期比4億76百万円、42.0%の増加)となり、経常利益は16億36百万円(前年同期比4億97百万円、43.7%の増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億30百万円(前年同期比4億84百万円、64.8%の増加)となりました。

当第2四半期連結累計期間における販売経路別及び製品分類別の販売実績は、以下のとおりであります。

<販売経路別販売実績>

販売経路	売上高		増減	
	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
エンドユーザー企業向け事業	4,065	3,651	△ 414	△ 10.2
卸売事業者向け事業	3,508	4,319	811	23.1
E C 事業及び小売り事業	857	1,036	179	20.9
合計	8,431	9,007	576	6.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

<製品分類別販売実績>

製品分類	売上高		増減	
	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
一般雑貨製品	4,275	3,269	△ 1,005	△ 23.5
エコ雑貨製品	3,474	4,195	721	20.8
ヘルスケア&ビューティ雑貨製品	543	1,424	881	162.3
デザインその他	138	117	△ 21	△ 15.7
合計	8,431	9,007	576	6.8

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 デザインその他は、グラフィック・プロダクト・WEBデザインの受託業務や印刷業務等の雑貨製品に該当しないものであります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億96百万円減少し、98億69百万円となりました。主な要因は、有価証券の減少3億88百万円、製品の増加69百万円によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ5億89百万円増加し、36億89百万円となりました。主な要因は、投資その他の資産の増加6億6百万円、無形固定資産の増加2百万円、有形固定資産の減少20百万円によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ4億4百万円減少し、21億28百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少1億70百万円、賞与引当金の減少54百万円、株主優待引当金の減少52百万円によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ49百万円増加し、9億78百万円となりました。主な要因は、長期借入金の増加51百万円、退職給付に係る負債の増加4百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ6億48百万円増加し、104億53百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加7億5百万円、自己株式の取得による減少92百万円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて1億51百万円減少し、37億90百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、当第2四半期連結累計期間に得られた資金は7億81百万円(前年同期に得られた資金は4億3百万円)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益16億35百万円による資金の増加及び法人税等の支払額6億81百万円、たな卸資産の増加額69百万円による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、当第2四半期連結累計期間に使用した資金は4億41百万円(前年同期に使用した資金は1億91百万円)となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出6億72百万円による資金の減少並びに有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入2億13百万円による資金の増加であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、当第2四半期連結累計期間に使用した資金は4億94百万円(前年同期に使用した資金は4億30百万円)となりました。主な要因は、配当金の支払額5億25百万円による資金の減少であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、2021年3月31日公表の「第2四半期連結累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ」において、2020年10月14日の公表数値を修正いたしました。

通期連結業績予想につきましては、緊急事態宣言が3月21日をもって終了しましたが、4月に入り、感染が急拡大している地域にまん延防止等重点措置の適用が決定されるなど、現時点で今後の新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に見積もることが困難であるため、2020年10月14日の公表数値を修正せず据え置いております。当第2四半期連結累計期間の経営成績を踏まえ、新型コロナウイルス感染症による影響、内外の景気動向や為替相場の動向等を精査し、業績予想の修正が必要であると判断した場合には速やかに公表いたします。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,855,255	3,823,663
受取手形及び売掛金	2,315,464	2,311,959
有価証券	510,020	121,333
製品	3,021,010	3,090,501
その他	473,025	530,737
貸倒引当金	△8,191	△8,216
流動資産合計	10,166,583	9,869,978
固定資産		
有形固定資産	1,138,587	1,118,546
無形固定資産		
その他	147,449	150,187
無形固定資産合計	147,449	150,187
投資その他の資産		
投資有価証券	595,043	1,280,030
その他	1,226,204	1,143,283
貸倒引当金	△6,833	△2,052
投資その他の資産合計	1,814,414	2,421,260
固定資産合計	3,100,451	3,689,995
資産合計	13,267,035	13,559,973

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	692,314	650,880
1年内返済予定の長期借入金	337,488	410,867
未払法人税等	653,435	482,472
賞与引当金	219,270	165,222
株主優待引当金	62,162	9,845
ポイント引当金	9,246	8,782
その他	559,488	400,357
流動負債合計	2,533,405	2,128,427
固定負債		
長期借入金	555,070	606,172
退職給付に係る負債	331,291	335,456
資産除去債務	37,488	36,492
その他	5,100	—
固定負債合計	928,949	978,120
負債合計	3,462,355	3,106,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	93,222	93,222
資本剰余金	3,294,777	3,294,777
利益剰余金	6,486,382	7,191,487
自己株式	△130,372	△223,219
株主資本合計	9,744,010	10,356,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,285	8,800
繰延ヘッジ損益	31,862	46,885
為替換算調整勘定	19,982	26,995
退職給付に係る調整累計額	15,110	14,475
その他の包括利益累計額合計	60,669	97,157
純資産合計	9,804,679	10,453,425
負債純資産合計	13,267,035	13,559,973

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)
売上高	8,431,271	9,007,426
売上原価	5,219,240	5,467,084
売上総利益	3,212,031	3,540,342
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	682,647	671,640
賞与引当金繰入額	134,413	136,898
退職給付費用	28,110	25,248
貸倒引当金繰入額	△119	18
株主優待引当金繰入額	9,736	9,845
ポイント引当金繰入額	△2,121	△463
その他	1,224,647	1,085,604
販売費及び一般管理費合計	2,077,314	1,928,792
営業利益	1,134,717	1,611,550
営業外収益		
受取利息	1,149	266
有価証券利息	12,281	9,018
助成金収入	—	37,834
その他	1,221	1,869
営業外収益合計	14,652	48,989
営業外費用		
支払利息	1,304	1,476
為替差損	8,787	20,749
その他	8	1,356
営業外費用合計	10,101	23,581
経常利益	1,139,268	1,636,958
特別利益		
受取保険金	152	—
特別利益合計	152	—
特別損失		
固定資産除却損	2,914	1,286
特別損失合計	2,914	1,286
税金等調整前四半期純利益	1,136,506	1,635,672
法人税、住民税及び事業税	376,721	480,297
過年度法人税等	—	△145,449
法人税等調整額	13,166	70,037
法人税等合計	389,887	404,885
四半期純利益	746,618	1,230,787
親会社株主に帰属する四半期純利益	746,618	1,230,787

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	746,618	1,230,787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,775	15,086
繰延ヘッジ損益	46,421	15,022
為替換算調整勘定	16,639	7,013
退職給付に係る調整額	1,646	△635
その他の包括利益合計	84,482	36,487
四半期包括利益	831,101	1,267,274
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	831,101	1,267,274
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,136,506	1,635,672
減価償却費	59,301	53,892
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△119	△4,755
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,064	△54,212
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16,936	3,529
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△5,999	△52,316
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△2,121	△463
為替差損益(△は益)	—	14,535
受取利息及び受取配当金	△13,431	△9,285
支払利息	1,304	1,476
固定資産除売却損益(△は益)	2,914	1,286
売上債権の増減額(△は増加)	112,504	8,484
たな卸資産の増減額(△は増加)	△145,537	△69,927
仕入債務の増減額(△は減少)	△148,190	△41,720
前渡金の増減額(△は増加)	△40,617	△15,710
その他	△16,798	△159,805
小計	964,715	1,310,679
利息及び配当金の受取額	12,668	10,691
利息の支払額	△1,093	△1,338
法人税等の還付額	32,183	143,046
法人税等の支払額	△604,572	△681,192
営業活動によるキャッシュ・フロー	403,901	781,886
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△40,625	△24,371
無形固定資産の取得による支出	△76,039	△20,069
定期預金の預入による支出	△54,530	—
定期預金の払戻による収入	—	52,375
投資有価証券の取得による支出	△264,541	△672,947
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	257,691	213,873
敷金及び保証金の差入による支出	△1,031	△12,239
敷金及び保証金の回収による収入	38,818	48,620
保険積立金の積立による支出	△48,999	△23,112
その他	△1,929	△3,933
投資活動によるキャッシュ・フロー	△191,186	△441,803
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△162,918	△175,519
自己株式の売却による収入	97,936	—
自己株式の取得による支出	—	△94,000
配当金の支払額	△465,922	△525,093
財務活動によるキャッシュ・フロー	△430,904	△494,612
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,440	3,442
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△213,749	△151,088
現金及び現金同等物の期首残高	2,775,984	3,941,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,562,235	3,790,336

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の取得

当社は、2020年11月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式100,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が92,846千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が223,219千円となっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。